

(第1-1号様式)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 3年 6月 14日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 奈良市西九条町4-3-1

氏 名 セキスイハイム近畿(株)奈良支店

支店長 杉江 孝夫

電話番号 0742-64-0781

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	セキスイハイム近畿株式会社 奈良支店
事業場の所在地	奈良県管轄区域（奈良市以外）
計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	令和2年度 建物売上高 4993.2百万円
③ 従業員数	65名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・がれき類、ガラス陶磁器くず：中間処理業者に委託、再生砕石として再資源化。・木くず、繊維くず：中間処理業者に委託、再生材や燃料として再資源化。・金属くず：中間処理業者に委託、金属原料として再資源化。・混合物：中間処理業者に委託、再資源化、残渣は埋立処分。・石綿含有物：最終処分業者に委託し、埋立処分。

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙 管理体制図の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 2 年度）実績】 別紙に記載		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） 現場担当者が各現場ごとに指示を行い、処分場で実測した廃棄物量を現場毎に品目別に集計し、月1回の会議で報告している。		
②計画	【目標】 別紙に記載		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 昨年度の取組を継続し、排出量が多い現場の原因を確認し、廃棄物抑制に取り組む。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・新築現場では廃棄物は15品目に分別、解体現場では10品目に分別。 ・余剰部材回収、再利用で廃棄物発生量抑制に取り組んだ。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 昨年度取組の継続。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 2年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 2年度）実績】 別紙に記載	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(これまでに実施した取組)	
・委託基準に従い業者を選定し、書面による契約締結をした。 又、締結から4年経過した業者との契約を見直し更新あるいは委託中止をした。 ・年間巡視計画を立て、全ての処理委託先の巡視を行った。		

②計画	【目標】 別紙に記載	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組)	
昨年度取組の継続。		
※事務処理欄		

